

第 26 回全国女性消防操法大会基本方針

1 目的

女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的とする。

2 日時

令和 7 年 10 月 28 日（火） 午前 9 時 00 分から（雨天決行）

3 会場

横浜赤レンガ倉庫イベント広場
神奈川県横浜市中区新港一丁目 1 番

4 主催

消防庁、公益財団法人日本消防協会

5 協力

神奈川県、横浜市、公益財団法人神奈川県消防協会

6 大会運営委員及び審査員

別表のとおり

7 運営方法

(1) 都道府県応援席

都道府県応援席の収容人員は、40 人を目安とする。

(2) 観覧エリア

海側に大型モニターで会場の様子が視聴できるベンチ席を設置する。

(3) ライブ配信

大会の様子（中継用カメラで撮影した映像）を YouTube 等でライブ配信する。

(4) 防災展・物産展

実施しないこととする。

8 出場隊

(1) 都道府県消防協会が推薦する女性消防隊（消防団員を含む。）とする。

(2) 1 隊 7 名とする。

9 消防操法

- (1) 軽可搬ポンプ操法とする。
- (2) 5人操法とする。
- (3) 手びろめによる二重巻ホース1線延長とする（ホース3本）。
- (4) 標的を使用し放水を行う。
- (5) 収納は省略する。

10 使用機械器具

D-I級軽可搬ポンプ一式

11 審査

- (1) 審査長は、消防庁消防大学校長とする。
- (2) 副審査長は、消防庁国民保護・防災部地域防災室長とする。
- (3) 審査員は、公益財団法人日本消防協会において指名する。
- (4) 審査基準は、前回大会（第25回全国女性消防操法大会）に準ずるものとして、公益財団法人日本消防協会において定める。
- (5) 審査内容については非公開とする。
- (6) 審査に対する苦情等は、一切受理しないこととする。
- (7) 大会日において、競技中に降雨等の不順な天候があっても、審査には考慮しないものとする。
- (8) 各隊の操法タイム及び総得点を公表する。

12 表彰

- (1) 12位までを表彰する。
- (2) 優勝 1隊 （内閣総理大臣賞・日本消防協会会長賞）
- (3) 準優勝 2隊 （消防庁長官賞・日本消防協会会長賞）
- (4) 優秀賞 3隊 （日本消防協会会長賞）
- (5) 優良賞 6隊 （日本消防協会会長賞）
- (6) 優秀選手賞 10名 （日本消防協会会長賞）

13 その他

今後の状況変化に対応して、変更が必要と考えられる事態となった時は、大会運営委員会において協議する。

別 表

第26回全国女性消防操法大会運営委員及び審査員

運営委員

| | | |
|----------|-----------------------|--------|
| 大会運営委員長 | 日本消防協会理事長 | 北崎 秀一 |
| 大会運営副委員長 | 消防庁消防大学校長 | 羽生 雄一郎 |
| 〃 | 日本消防協会常務理事 | 米澤 健 |
| 運営委員 | 消防庁総務課長 | 笹野 健 |
| 〃 | 消防庁国民保護・防災部 地域防災室長 | 福西 竜也 |
| 〃 | 消防庁消防大学副校長 | 日高 真実 |
| 〃 | 横浜市消防局長 | 佐々木 功喜 |
| 〃 | 神奈川県消防協会会長 | 野本 敏明 |
| 〃 | 日本防火・防災協会振興部長 | 福留 早巳 |
| 〃 | 横浜市中消防団副団長 | 黒柳 祥子 |

審査員

| | | |
|------|-----------------------|--------|
| 審査長 | 消防庁消防大学校長 | 羽生 雄一郎 |
| 副審査長 | 消防庁国民保護・防災部 地域防災室長 | 福西 竜也 |
| 審査員 | 日本消防協会の指名する者 | 26名 |